

キュレーターズ・アイ

針生卓治展

HARIU Takuji

2021年 4.27(火)~6.27(日)

※会期が変更になる可能性があります。ご来館前に当館ホームページをご確認ください。

主催／山梨県立美術館

会場／ギャラリー・エコー(美術館エントランス)

開館時間／午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日／5月6日(木)、10日(月)、17日(月)、24日(月)、31日(月)
6月7日(月)、14日(月)

観覧無料



種をまく 世界がひらく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

《凍テツク荒野-Ⅱ》

2019年 麻紙、パネル・アクリル絵具

針生卓治 展

HARIU Takuji

2021年 4.27(火)～6.27(日)

「境界」をみつめて

「キュレーターズ・アイ」では、主に山梨県にゆかりのある若手作家を取り上げ、その作品を紹介している。

日本画を学んだ画家・針生卓治は、現在はアクリル絵具を用いて、水平線を軸に風景を描いている。その風景は、明確にどこかの景色として描かれているものではない。むしろ茫漠とした空間が広がり、上部と下部が塗り分けられていることで、かろうじて空と地を想像させる。それはまるで、空と地とが混じり合った状態から、あわい光を映じて両者がそれぞれに立ち現れて来る瞬間のようでもある。その時、空と地との間には、混じり合ったままの境界が細かな筆を重ねた水平の線として存在するように見える。

針生は以前、線や矩形による風景を描いていた。垂直線や水平線、四角が用いられ、それらは針生にとって、線や四角いものに囲まれた人間の「生活」を象徴していたと言う。「生活」の内と外との境である窓というモチーフが組み合わされることもあった。加えて、まさに長方形の集積である、本の背表紙を多数描いた作品もある。モチーフは、針生の感じる「生活」というテーマを構成するものとして画面に組み込まれてきた。

近年はその「生活」というテーマから、内と外を区切る「境界」という概念を描くことに移ってきた。「生活」の中に見出される「境界」。それは家の内と外という物理的な「境」や、自己と他者という人と人との関係にも見られるものである。人間が生きていく上で、自分と他人の距離をはかりながら関係を築いていくことは必然と言えよう。その距離の感覚に、多くの人は注意を払い、時に悩みや不安、葛藤を覚える。かつての、本を描いた作品に、「mind」(心)というタイトルが付けられ、さまざまな色が散りばめられていたことは、日々揺れ動く人の感情の表現にも思われる。これを鑑みると、近年はその指向するところが「境」へと集中し、よりシンプルな風景として展開されるようになったのかもしれない。その画面は作者自身の感情を含み込むとともに、シンプルかつ明確な対象を持たないがゆえに、結果として観る者の多様な感情を受け入れるものとして開かれている。そしてそのような作品を提示することが、針生の「境界」に対するアプローチなのだとと言えるだろう。

(山梨県立美術館学芸員 太田智子)

[経歴]

1984年 宮城県仙台市に生まれる
2008年 東北芸術工科大学日本画コース卒業
2010年 東北芸術工科大学大学院日本画領域修士
山梨県北杜市、ついで甲斐市を拠点に活動(-2019年)

[賞歴]

2005年 第16回臥龍桜日本画大賞展 入選
2008年 東北芸術工科大学卒業制作 優秀賞
第72回河北美術展 河北賞('06 新人奨励賞 '07-力次郎賞)
2012年 第30回上野の森美術館大賞展 入選('07 入選)
2019年 第3回宝龍芸術大賞展 優秀賞

[個展]

2011年 個展/アートスペース羅針盤・東京
2013年 個展/山梨TOYOTA甲府バイパス小瀬店・山梨
2014年 個展-窓辺にて-/アートスペース羅針盤・東京
個展-REPEAT-/iGallery DC・山梨
2016年 個展-層-/アートスペース羅針盤・東京
2019年 個展-silence-/SAN-AI GALLERY・東京

[グループ展]

2010年 羅針盤セレクション2010 Vol.2/アートスペース羅針盤・東京
Dadacha/銀座スルガ台画廊・東京
totoco./恵塾画廊・山形
Nabel/恵塾画廊・山形
2011年 Allumage Les June - 日本画6人展/K's Gallery・東京
2012年 羅針盤セレクション「様々な表現」/アートスペース羅針盤・東京
北斗七星/アートスペース羅針盤・東京
ドローイング展/アートスペース羅針盤・東京
Eradiate-灯心草-展/山梨県立美術館県民ギャラリー・山梨
2013年 アートエナジー/代々木アートギャラリー・東京
羅針盤セレクション -注目の作家展-/アートスペース羅針盤・東京
STILL SUMMER II/マキマサルファインアーツ・東京
こうふのまちの芸術祭/富雪ギャラリー・山梨
新鋭日本画 野桜会展/恵塾画廊・山形
2014年 藤原泰佑×針生卓治 Joint exhibition/アートスペース羅針盤・東京
富士吉田芸術会びらき/下吉田・山梨
こうふのまちの芸術祭/銀座通り商店街・山梨
Layer/マキマサルファインアーツ・東京
2015年 藤原泰佑×針生卓治 Joint exhibition 2015/アートスペース羅針盤・東京
こうふのまちの芸術祭/銀座通り商店街・山梨
第5回天祭一〇八/増上寺・東京
ヤングクリエイターズアワード2015/MiGallery・大阪
ART POINT Selection VI/GALLERY ART POINT・東京
2016年 プラウ・ケタム国際芸術祭/マレーシア
2017年 針生卓治×岡本直浩2人展/iGallery DC・山梨
あまだれ展/画廊翠巒・群馬
2018年 新取藏品展 プンガク玉手箱/山梨県立文学館・山梨
2019年 羅針盤セレクション/アートスペース羅針盤・東京
真夏の壺伍祭/SAN-AI GALLERY・東京
2020年 羅針盤セレクション/アートスペース羅針盤・東京

[他]

2013-2016年 現代短歌社発行「現代短歌(月刊)」カバー装画・挿絵担当
2013- 現代短歌社刊行書籍カバー装画担当 多数
2017年 山梨日日新聞
やまなし文芸賞小説部門受賞作「まいべえら」挿画担当(連載)

[パブリックコレクション]

新潟県長岡市、山梨県立文学館

ACCESS

中央自動車道甲府昭和インターより

■料金所を昇仙峡・湯村方面へ出て200m先を左折、西条北交差点を左折、アルプス通りを約2km直進、真川交番前交差点を左折、国道52号を約1km、左側。

JR中央本線甲府駅より

■甲府駅バスターミナル(南口)1番乗り場より御勅使・竜王駅経由敷島営業所・大草経由韮崎駅・真川団地各行きバスで約15分「山梨県立美術館」下車。

※甲府駅からのバスの時刻表は(山梨交通HP)よりお調べいただけます。

■タクシーで約15分



ホームページ



Twitter



種をまく 世界がひろく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

甲府市真川1-4-27 〒400-0065 Tel:055-228-3322 Fax:055-228-3324
https://www.art-museum.pref.yamanashi.jp/